

3月の例会報告

日立支部

3月6日(水) 日立シビックセンターにて
『幸せって何だろう？
～自分探しから見てきた会社の存在意義～』
報告者:栗山 英樹さん 栗山燃料店 アワヤマリビング 代表



日立支部3月例会は、県央海浜支部会員である栗山燃料店代表の栗山英樹さんに報告をいただきました。斜陽産業である家業とどう向き合い、自社の将来をどう描いていくか、そんな迷いを解決するために受講した経営指針の成文化セミナー。自分自身と自社の経営に真正面から向き合い、苦しみながらも見てきた、自らの価値観、自社の存在意義、経営者としての覚悟を丁寧にそして心を込めて報告してくれました。逃げずに自分自身と向きあったことで見てきた沢山のこと、栗山さんの指針を創る過程や想いが伝わる素晴らしい例会となりました。

(レポート:永岡 誠司さん)

県央海浜支部

3月19日(火) ワークプラザ勝田にて
『21世紀型企業づくりをめざして
～地域社会の期待に応えるために～』
報告者:斉藤 哲生さん さ志まや製菓(株) 代表取締役



県央海浜支部3月例会は、県代表理事でもある、さ志まや製菓(株)代表取締役表 斉藤哲生さんにご報告いただきました。創業は大正元年。地域に愛される商品を作り続け、地域での様々な活動にも携わっている斉藤さんですが、これまでになく世の中が大きく変わっていく中、伝統の味を守り続けようと努力されています。今後は同友会の「21世紀型中小企業づくり」を参考に、代表理事として茨城同友会の模範となる企業になるよう期待の高まりを体感したそうです。

(レポート:阿久津 隆男さん)

水戸支部

3月28日(木) 茨城県総合福祉会館にて
『知っておきたい助成金活用術』
報告者:阿内 利之氏さん
中小企業診断士 社会保険労務士



水戸支部3月例会では、社会保険労務士、中小企業診断士として活躍されている阿内利之氏を講師に迎えて、助成金・補助金の活用術を学び合いました。中小企業は助成金を活用する事によって販路拡大や雇用創出などの利点がありますが、実は知られていないことの方が多く活用できていないのが現状です。今回のセミナーでは、助成金・補助金の分類や共通点・相違点から始まり、利用実績の多い企業と少ない企業の違いは何か、成功率の違いは何かを指南していただきました。自社の構想を明確にして、自社のビジョンを実現するために補助金・助成金を使うことが大切であるということを学ぶことが出来ました。

(レポート:松野 聖史さん)

月に1度は支部活動に参加して みんなで盛り上げていきましょう！！



南西支部

3月22日(金) 茨城県県南生涯学習センターにて
『会社の未来を見える化！ ～経営指針書をつくりましょう～』
報告者:武石 光弘さん 武石税務会計事務所 代表



南西支部3月例会は、南西支部会員、武石税務会計事務所代表の武石光弘さんを報告者に迎えて、会計のプロである税理士という立場から、自社の方向性を指し示す経営指針書の必要性、経営指針書を創るポイント、経営指針書を持つことで描くことが出来る未来についてお話をいただきました。今回は初の例会報告ということもあり、緊張をされていた武石さんでしたが、経営指針書を自社経営に生かす方法について丁寧に報告いただき、報告者と参加者が共に学ぶうとても良い機会となりました。

(レポート:浜路 洋一郎さん)

県西支部

3月27日(水) ダイニングバー若菜亭にて
2019年の目標設定例会
コ-ディネ-ター:野口 和明さん 野口工業(有) 代表取締役



県西支部3月例会は境町にある若菜亭を会場に、2019年の目標設定例会を開催しました。茨城同友会県南3支部で恒例となったSouth West DO-YU Award。年頭に自社の経営理念・経営指針に沿った実践目標を設定し、年末にその実践結果を確認する事で、同友会で大切にしている経営実践を県南の同友会メンバーで共有し共に高めあおうという取り組みです。3月例会では、その目標設定を、懇親を深めるために食事を取りながら支部会員同士で議論しました。それぞれ経営課題もオープンに語り合いながら目標設定を行い、アワードのエントリーシートを記入して、今期の実践を誓い合いました！

(レポート:事務局)

ドラゴン支部

3月16日(土) 中国四川料理 甲子亭にて
『パテント&トレードマーク 成功例/失敗例
～知っていないと損！どこか会社が潰れます！！～』
報告者:金山 義信さん スプリング国際特許事務所 弁理士



ドラゴン支部3月例会は、ドラゴン支部会員のスプリング国際特許事務所 弁理士 金山義信さんをお迎えしました。また、金山さんが携わった日立支部の大畑義則さん、リトルピアニスト(株)の倉知真由美さんもゲストスピーカーとしてお越し下さり、事例を交えながらの報告となりました。今回の例会に参加するまでは、知財戦略の必要性を感じながらも、具体的なアクションに踏み出せないでいるのが実情であったと思います。しかし、知財の活用やリスクに学ぶことができ、経営と知財戦略をともに創り上げることで会社の成長を目指す、というきっかけになる素晴らしい例会になりました。

(レポート:大野 順市さん)